

分析によって得られる解釈からより深い表現へ！ (シリーズ IV)
～フランス近代の音楽～

11月18日・11月25日・12月2日
月曜 18:30～20:00

中目黒・代官山キャンパス
C400 教室

全3回 9,900円 (税込) 定員 35名 ※ 最低開講人員10名 申込締切10月28日 (月)

ドビュッシーやラヴェルの作品を「フランス近代物」ということがあります。この表現、適切なのでしょうか。同時代のブラームスやワーグナーは「ドイツ近代物」とは言わず、「後期ロマン派」という名称のままです。今回の「分析によって得られる解釈からより深い表現へ！シリーズ IV」では古典派とロマン派の音楽を中心に勉強や鑑賞をしてきた方がドビュッシーやラヴェルの音楽に触れた時の、美しいけれど溶け込めない感じや戸惑いを取り除く講座です。調性や機能音声から少し離れた理由と仕組みを解き明かし、彼らのおしゃれな響きと構造の秘密に迫ります。

楽典の知識がある方を対象とします。受講者は分析予定のラヴェル作曲「ソナチネ」とドビュッシー作曲「前奏曲集第1巻」の楽譜を用意して下さい。



照屋 正樹 先生

東京藝術大学音楽学部作曲科及び同大学院音楽研究科作曲専攻卒業
現在、東京藝術大学名誉教授、東京音楽大学非常勤講師
主要著書：「楽典～音楽の基礎から和声へ」(アルテスパブリッシング刊、共著)
「フォルマシオン・ミュージカル教育法によるティーチングプラン」(東京藝術大学出版会刊)

～誰でも知ってるドレミファソ Part 2～
もっと深く味わってみませんか？

11月19日・11月26日・12月3日
火曜 18:00～19:30

中目黒・代官山キャンパス
C300 教室

全3回 9,900円 (税込) 定員 35名 ※ 最低開講人員10名 申込締切10月29日 (火)

私たちは「ドレミファソ」と簡単に言えます。ところがフランス国では小・中・高の教育科目に「音楽」という単元が無いそう！もし担任が音楽に興味の無い先生だったら音楽教科に触れずに小中高を了えてしまう事もありだとか…。幸い我が国では文科省により音楽教科は必修となっているので「ドレミファソ」の文盲率は0%では、と思います。されど、そのドレミファソが幸せな形で体験できて来たかという、それには大分？が灯ります。その「ドレミファソ」をしみじみ、愛おしんで心の底から味わってみよう、というのがこの講座です。皆様と、うんと楽しく歌ってみたいですね！！

※ 使用テキスト「ドレミでみつける名曲のヒミツ」(音楽之友社刊)は初回時に販売予定です。



高橋 千佳子 先生

東京藝術大学作曲科卒業。同大学院ソルフェージュ科修了。作曲を池内友次郎、矢代秋雄、永富正之、間宮芳生、松村禎三の諸氏に、ピアノを谷康子女士に、また伴奏法をアンリエット・ビュイグ＝ロジェ女士に師事。国立音楽大学、東京藝術大学及び同附属高校、日本大学芸術学部、東京音楽大学の講師を経て、現在、東京音楽大学附属高校講師。成城ソルフェージュ研究協会代表、日本ソルフェージュ研究協会理事。また、1977年よりCM作曲に携わり、ヒット作は明石家さんまのキッコーマン・ほん酢しょうゆ「しあわせって何だっけ?」。著書に『音を感じる視唱入門－先生のピアノで歌おう』『言葉で味わうリズム唱入門』(音楽之友社)、『たのしいリズムパーティー 1、2巻』『ぶっぶるのリズムカード』『いちばんやさしい3歳からのソルフェージュ、5歳からのソルフェージュ』など。

お申込み及び注意事項について

- ・先着順で受け付けます。お申込みいただいた場合でも、すでに定員満了となっており、お断りする場合があります。なお、定員に満たない講座は開講しない場合もあります。
- ・受講料のお支払いについては、各講座の申込締切日以降にメールでご案内いたします。
- ・講座の内容、開催日時や教室番号は都合により変更となる場合があります。
- ・受講料お振込後、または講座途中のキャンセル、返金は致しかねます。
- ・お申込み後に受講受付連絡をメール配信します。お申込み内容をご確認ください。
- ・すべての講座は日本語で行います。
- ・機材を使用する講座は、使用料が含まれております。

お申込先



<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/information/37941.php>

社会連携部事業課
shakaijin2@tokyo-ondai.ac.jp
☎ 03-6455-2769

講座開催場所

東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス
〒153-8622 東京都目黒区上目黒1-9-1



Google Map

JR 「恵比寿駅」より徒歩 14 分
東急東横線 「中目黒駅」「代官山駅」より徒歩 5 分

TOM

2024 年度 東京音楽大学
秋学期 社会人向け 公開講座

社会人の 学びの場

東京音楽大学

音楽大学でより本格的に“学びたい・学び直したい”
社会人の方々に、中目黒・代官山キャンパスにて
“社会人の学びの場”を開講しています。

開講講座

即興的ピアノ演奏のススメ
～和音をめぐる自由なピアノ演奏の楽しみ～

吹奏楽、その歴史と系譜

リズムで楽しむソルフェージュ

音楽授業のための Power Point 活用法

ガレージバンドで作曲を！

西洋音楽の流れを辿る

古楽四方山話、三度！

シリーズIV

分析によって得られる解釈からより深い表現へ！
～フランス近代の音楽～

～誰でも知ってるドレミファソ Part 2～
もっと深く味わってみませんか？



即興的ピアノ演奏のススメ
～和音をめぐる自由なピアノ演奏の楽しみ～

9月28日・10月19日
土曜 16:00-17:30

中目黒・代官山キャンパス
C402 教室

全2回 9,900円(税込)* 定員 20名 ※最低開講人員7名 申込締切 9月7日(土)

本講座では、「楽譜がなくても即興的に鍵盤を自由に演奏できる」ことを目指し、伴奏付けや簡単な即興演奏を通して、和声的に鍵盤を弾きこなす感覚を養います。実演を交えてクラシック音楽における即興の歴史を紐解きながら、和音の役割と重要性、その扱い方を解説していきます。実際にキーボードで様々な和声の配置を弾くことにより、響きの違いを指と耳で体感してみてください。そして、メロディーへの伴奏付けやアレンジ、さらには和声進行を軸とした即興演奏へと発展させていく手法をご紹介します。“和音”を巧みに操る技によって、ピアノをより自由自在に弾ける楽しさを味わってみましょう。



渚 智佳 先生

東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業、東京藝術大学大学院修了。全日本学生音楽コンクール全国大会高校の部、園田高弘賞ピアノコンクール等にて優勝。東京都交響楽団、チェコ・フィル八重奏団等と共演。全音ピアノ教則本CDでは「ソナタ・アルバム」「ツェルニー 50 番」始め 20 タイトルを超える録音を行なう。ヤマハ音楽振興会にてピアノ指導法講座や教材編纂・録音に携わる。演奏活動の傍ら作編曲も手掛け、R. シュトラウス「英雄の生涯」吹奏楽編曲版を出版。現在、東京音楽大学専任講師、ヤマハ音楽研究所研究員。

* 機材使用料を含みます。

吹奏楽、その歴史と系譜

10月7日・10月21日・10月28日
月曜 18:30～20:00

中目黒・代官山キャンパス
C400 教室

全3回 9,900円(税込) 定員 35名 ※最低開講人員10名 申込締切 9月16日(月・祝)

「吹奏楽」と一言と言っても、そのなかに様々な種類があるのはご存知でしょうか。広い範囲で吹奏楽を捉えた場合、モーツァルトやベートーヴェン、ブラームスといったクラシックの大作作曲家も吹奏楽曲を作っている、というのはあまり知られていないかもしれません。そもそも「吹奏楽」はいつ、いつ、どのようにして生まれたのでしょうか？この講座では、いわゆる吹奏楽、広い意味での吹奏楽「ハルモニウムジーク」や「管楽オーケストラ」の作品群、それらの交点としての吹奏楽「ウインド・アンサンブル」といった、各種吹奏楽の歴史やレパートリーを考えていきます。



中橋 愛生 先生

東京音楽大学作曲指揮専攻および同大学院を首席で修了。2002年、第71回日本音楽コンクール作曲部門（管弦楽作品）第三位。2007年度、第18回日本管打・吹奏楽学会アカデミー賞（作編曲部門）。2009年および2010年、日本吹奏楽指導者協会「下谷奨励賞」。作品は東京佼成ウインドオーケストラ、シエナ・ウインド・オーケストラ、陸上自衛隊中央音楽隊などによって初演されている。現在、東京音楽大学教授、国立音楽大学・日本大学芸術学部各講師、日本バンドクリニック委員会委員、日本管打・吹奏楽学会理事、21世紀の吹奏楽“響宴”実行委員、日本管楽芸術学会正会員。2008年4月よりNHK-FM「吹奏楽のひびき」パーソナリティも務めている。

リズムで楽しむソルフェージュ

10月8日・10月15日・10月22日
火曜 18:00～19:30

中目黒・代官山キャンパス
C300 教室

全3回 9,900円(税込) 定員 35名 ※最低開講人員10名 申込締切 9月17日(火)

「メロディー・リズム・ハーモニー」が音楽の3大要素だとよく言われます。そしてその中でも、リズムは最も強く音楽のキャラクターを決める力を持ち、聴く人に与える気分や感情にも非常に大きな影響を与える要素です。また、リズムの特徴は音楽作品の作られる時代によっても大きく変化します。今回の講座では、手で打つ・読む・歌う等の方法で、色々なリズムの解釈や表現について学ぶことを通して、音楽をより深く体験することを目的とします。受講者は各自、「音楽史からみた リズム・スタディ」(全音楽譜出版社、税込 1,430円)をご用意ください。



荒尾 岳児 先生

東京大学文学部卒業、東京藝術大学大学院修士課程作曲専攻修了。声楽・器楽のアンサンブルピアニストとして多くの公演に参加しつつ、ソルフェージュの指導にあたっている。現在東京音楽大学准教授、東京藝術大学非常勤講師。日本ソルフェージュ研究協議会理事。
共著：『リズム・スタディ』『クレ・スタディ』(全音楽譜出版社)『新・名曲視唱曲集』(音楽之友社)他
CD：「和谷泰扶ハーモニカトリオ/マタドール」「同/曼珠沙華幻想」(ピアノ・編曲)(ナミ・レコード)他

音楽授業のための Power Point 活用法

10月11日・10月18日・10月25日
金曜 18:00～19:30

中目黒・代官山キャンパス
C411 教室

全3回 14,850円(税込)* 定員 12名 ※最低開講人員7名 申込締切 9月20日(金)

プレゼンテーションツールである、Microsoft365のPowerPointを用いて、音楽授業の資料作成をしてみましょう。また、音楽授業の資料だけでなく、研究発表で実際に使用したPowerPoint資料などの例も提示しながら作成方法を説明します。アニメーションの入れ方、スライドの画面切替の効果などを用いることで、見ている人が楽しくなるような授業資料等の作成を実施してみましょう。自分でやってみたいと思う内容を実際にPowerPointで作成し、その場でアドバイスを受けることにより、プレゼンテーションツールの敷居が低くなることを目指します。



石川 薫 先生

東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒、同大学院(ソルフェージュ)を経て、東京藝術大学大学院音楽研究科博士課程修了。博士(学術)。シンフォニー音楽劇「蜂蜜と遠雷～ひかりを聴け～」において、主役を含む6名のピアノ指導実施。また、劇団でのソルフェージュ指導のほか、ピアノ伴奏、受験生などの後進の指導も行っている。現在、東京音楽大学、東京藝術大学附属高等学校非常勤講師。月刊ピアノにて「みるみるわかる楽典講座」連載中。

* 機材使用料を含みます。

ガレージバンドで作曲を！

10月12日・10月19日・10月26日
土曜 13:30～15:00

中目黒・代官山キャンパス
C411 教室

全3回 14,850円(税込)* 定員 12名 ※最低開講人員7名 申込締切 9月21日(土)

世の中に溢れている音楽の多くは、「打ち込み」で作られた音楽です。生楽器による演奏・録音ももちろん重要なことですが、現在、打ち込みで作る音楽のために、様々な方法が模索されています。この講座では、Apple社のiPhone、iPadなどにプリインストールされている「ガレージバンド」を足掛かりとして、現在の「音楽の作り方」を知り、自作曲を作り、「自分オリジナルの音楽」を具現化することを試みます。



土屋 真仁 先生

東京音楽大学、作曲/映画・放送音楽コース(現：ミュージック・メディアコース)卒業。東京音楽大学准教授。作曲家グループ「ベアグラウンド」のメンバーとして2016年4月より放送が開始されたNHK「おかあさんといっしょ」内の人形劇「ガラビコぶ～」オープニングテーマ、および劇伴音楽などを6年間担当。「2～5歳児の簡単器楽合奏曲集」(ナツメ社)の編纂に、監修・編曲として参加。

* 機材使用料を含みます。

西洋音楽の流れを辿る

11月7日・11月21日・11月28日
木曜 19:00～20:30

中目黒・代官山キャンパス
C305 教室

全3回 9,900円(税込) 定員 35名 ※最低開講人員10名 申込締切 10月17日(木)

クラシック音楽の流れを中世から近代まで概観します。中世の単旋律の世界から出発し、ルネサンス時代に合唱全盛となり、続くバロック時代に楽器の発達と共に器楽曲が開花していきました。その後は古典派、ロマン派、近代と続いています。ご自分のお気に入りの音楽がどの時代のもので、その時代背景はどのようなものであったのか、と一緒に展望してみませんか。



坂崎 則子 先生

東京藝術大学楽理科、同大学院音楽研究科修了。現在、東京音楽大学客員教授。ルネサンス・バロックのリュート音楽研究。本学学部、大学院では西洋音楽史、オペラ史、文献研究、学生の論文指導などを担当。

古楽四方山話、三度！

11月11日・12月9日・12月16日
月曜 18:00～19:30

中目黒・代官山キャンパス
C400 教室

全3回 9,900円(税込) 定員 35名 ※最低開講人員10名 申込締切 10月21日(月)

社会に根付いてきた感のある『古楽』という言葉は何を指すのか、「それ以外」とはどう違うのか、『古楽』を実践するときの問題・課題はなにか、聴くときには何か特別な知識や理解が必要なのか等々、おそらく一般的と思われる疑問を共有し、また楽譜・資料や録音なども交えて、音楽全般が今後『どこへ行くのか』と考え巡らす時間です。



鈴木 秀美 先生

チェロ、指揮、執筆、録音ディレクター、教育と活動は多岐にわたり、サントリー音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞ほか多数を受賞。OLCの他国内外の楽団に指揮者及びソリストとして客演。神戸市内管弦楽団音楽監督。山形交響楽団首席客演指揮者。日本ベートーヴェンクライス副代表理事。録音は多数に上る。著書に「『古楽器』よ、さらば!」、「ガット・カフェ」、「無伴奏チェロ組曲」、「通奏低音弾きの言葉では」。東京音楽大学チェロ科客員教授、東京藝術大学古楽科講師。